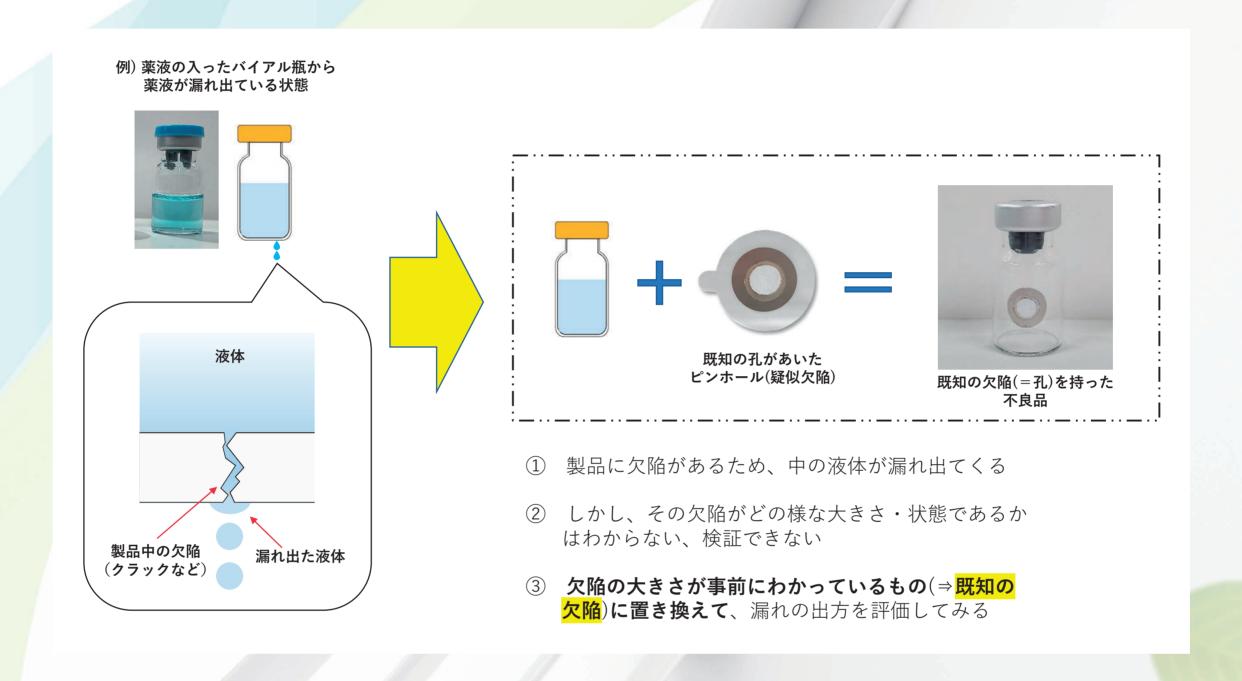
株式会社フクダ

密封度の信頼性向上に関する工業規格立案と展開

欠陥形状規格化により密封製品の評価基準を確立する



2022年6月より「密封製品の信頼性向上に関わる規格策定検討会」を立ち上げ、評価基準となる欠陥形状規格化に取り組んでいます。

ここでは、自動車、ガス、電子機器、センサ、医薬・食品包装関連メーカー及び関連計測機器メーカーが集い、規格化の為の検討を行っています。

現在、それぞれの企業が独自に定めている密封性基準の見直しを図り、過剰品質や不良判定基準の適正化、標準化を進めています。

計工連メンバー企業においては、IP 規格 (密封性保護等級) における検査基準の準標準化を目指し 計工連規格 (JMIF 規格) 策定に取り組んでいます。

密封性の信頼性向上のための技術は、自動車部品、ガス機器、半導体・電子部品、医薬・食品包装など幅広い分野で共通して利用可能な技術である事から、産業技術総合研究所(AIST)の協力のもと、 欠陥形状分析理論やガス拡散理論の開発などと併せ、日本発の工業規格化に向けた取り組みを続けています。







